第15講

形式別の基本出題パターン

テーマ型・課題文型・データ型

チャプター1

レクチャー

ポイント

　小論文の出題形式はおおよそ（　　　　　　　　　）種類ある。それぞれ対応の方法があるので学んでいこう。

　（　　　　　　　　　）型とは、特に資料などがなく、設問のみが示されるものである。

　（　　　　　　　　　）型とは、設問に加えて（　　　　　　　　　）が付されるものである。

　（　　　　　　　　　）型とは、設問に加えて（　　　　　　　　　）や（　　　　　　　　　）が付されるものである。

　出題によっては（　　　　　　　　　）と（　　　　　　　　　）や（　　　　　　　　　）が組み合わされるときがある。

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

問題およびヒント

問題を見てみよう

　ドイツ出身の哲学者であるハンナ・アーレントは公共的空間を「互いに異なった人々（あるいは価値観）が出会う場」と述べています。私たちが新しいコトやモノに出会うには、公共の空間に参加することが欠かせません。しかし、利益や価値観が異なる他者の存在を排除しようとする人もいるのは事実です。こうした場合、あなたならどのように振る舞いますか。具体的な事例を交えながら、前述の「排除しようとする人」がなぜそう振る舞うのかを考察しながら、600字以内で述べてください。

（オリジナル）

生徒メモ欄

教員記入欄

解答案をつくってみよう

（　　　　　字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見(主張)	設問と意見の関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

　他者を排除するのは異質性を感じるからではないだろうか。集団になじまない存在を排除することで集団の均質性を保とうとするのではないだろうか。

　そのように考えるのは、小学生の時の体験による。海外から転校生が来た時、私を含めた在校生は遠巻きに彼を見ながら親しくすることができずにいた。それは人種の違いがすぐに分かる容姿や、英語圏の名前に異文化を感じたことに関係して排除を行っていたといえる。時が過ぎ、彼の持つ私たちと同じ小学生らしさに気づくと、彼を遠巻きにすることはなくなった。彼が「ハーフの転校生」から、ただの「同級生」に転じたことで排除が起きなくなったからだ。

　排除には母体となる集団が不可欠だが、それは共通項を持つことが成立条件だ。例えば年齢や居住区域が近いと学校に、同じスポーツを楽しむ人とはクラブチームや部活という集団に属す。そして制服着用や練習時間の確保など、集団に相応しい振る舞いが求められる。集団を維持する振る舞いから逸脱した時に均質性を乱すものとして排除が起きるのではないだろうか。人は生活するうえで家族、学校、部活、塾、習い事、オンラインゲーム仲間など複数の集団に属していて、より自分に合った集団に移動することも可能である。しかし、帰属している集団や構成員を尊重して求められる振る舞いを行い、逸脱しすぎないことも必要ではないだろうか。

（595字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

項目	観点	評価
設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見(主張)	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例②

　意見や価値観が異なる他者と協力して何かを行う場合には、互いの意見のすり合わせや譲り合いが不可欠だと考える。なぜなら様々な立場からの考えを考慮することで、よりアイデアの発展や進化が起きると期待するからだ。しかし、中には譲り合いではなく、ある意見を採用して他を不採用とする人もいるのはなぜだろうかと考えた。

　一つの意見だけを採用する際、先例に則っていることや強者の意見が重要視されるように思う。恒例行事や、部活動での先輩の意見などがその例だ。毎年開催しているから今年も行う、先輩の意見だから従う。部活動の先輩が、引退後も訪ねてきて、上からの発言を繰り返すのは、自分の意見が通るということを知っているからではないかと思う。そのように、一つの意見に単純に従うことは思考の停止が起きているように思う。そして、新鮮さも無く、繰り返すだけとなり、状況に合わなくなる可能性もある。構成員も異なるのだから、その時々の最善を尽くすために、考えることを惜しまず取り組む必要があるだろう。

　そのためには関係者がどのような目標のためにどのような意見を持っているのかを聞き、何を目指すかということから意見のすり合わせをしていく必要があるだろう。例えば収益と顧客満足度のどちらを優先させるかによっても様々なことが変わってくる。多くの人の意見を聞き、まとめる能力が必要であると考え、そのように振る舞いたいと思う。

(597字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己
評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見（主張）	設問と意見の関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄